

令和7年度第3回小金井市気候市民会議 報告書

1. 小金井市気候市民会議の目的

「小金井市気候非常事態宣言」（令和4年1月発出）では2050年までのゼロカーボンシティの実現を目指している。その目的達成に向けて、市民が自分ごととして取り組むことができる地球温暖化対策に係る行動を検討し、実行するための行動計画等を提言としてとりまとめることなどを目的に、気候市民会議を実施する。

2. 第3回小金井市気候市民会議の目的

第2回までの結果を踏まえた提言書のたたき台をもとに、議論・検討し、提言書（案）をまとめることを目的とした。

3. 開催概要

テーマ	「提言書（案）の作成」
日時	令和7年9月6日（土曜）13時30分～16時40分
会場	市民会館萌え木ホール（商工会館3階）
参加者	無作為で選出された小金井市民 20名
スタッフ	小金井市職員、エヌエス環境株式会社職員 11名

4. 当日の流れ

- 13時00分～ 受付
- 13時30分～ 第3回小金井市気候市民会議 開会（小金井市副市長 神山 伸一）
- 13時35分～ 第2回小金井市気候市民会議の振り返り
アンケート調査結果概要
- 13時55分～ 提言書（案）たたき台について
- 14時05分～ グループワークの説明
- 14時15分～ グループワーク「提言書（案）の作成」
 - A グループ テーマ「再生可能エネルギー・省エネルギー」
 - B グループ テーマ「公共交通・移動手段（EV化、自転車など）」
 - C グループ テーマ「ごみの減量化とリサイクル」
 - D グループ テーマ「緑地の保全・創出」
 - E グループ テーマ「意識啓発と教育・学習、情報発信とコミュニティ」
- 15時35分～ 休 憩
- 15時45分～ 提言書（案）の共有（グループ発表）（5グループ）
- 16時15分～ 提言書（案）手交式（小金井市長 白井 亨）
- 16時20分～ 白井市長からのメッセージ
- 16時25分～ 集合写真の撮影
- 16時35分～ 事務連絡、閉会
- 16時40分 ワークショップ終了

5. 開催風景



神山副市長による開会の挨拶



グループワークの様子1



グループワークの様子2



グループワークの様子3



発表の様子 1



発表の様子 2



手交式の様子



白井氏市長からのメッセージ

6. グループワークの結果

【A グループ】

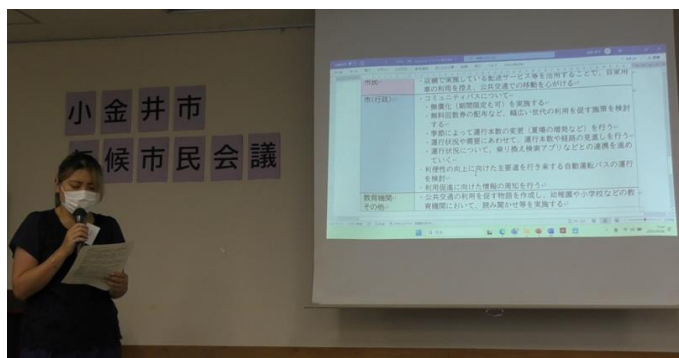
再生可能エネルギーと省エネルギーについて、中長期的な視点での意識向上が重要であることが指摘されました。市民や事業者の意識が低い理由として、知識不足や情報不足が挙げられ、設備導入のメリットを周知するための勉強会が必要とされました。



また、補助金制度の周知や申請手続きの簡略化も求められているとともに、市民が自分ごととして考えるための動機づけや、楽しみながら学べるツールの提供が重要視されています。事業者には再エネ設備の体験機会を増やすことが提案され、優良事業者へのインセンティブや教育機関との連携を通じた啓発活動の強化が必要とされました。

【B グループ】

公共交通と移動手段の改善について、自家用車からのCO₂排出削減が重要であることが指摘されました。現状の課題として、移動手段の切り替え、公共交通の利便性向上、電動車への切り替えの3点を挙げ、環境への配慮だけでなく、利用者にメリットを提供することが重要とされました。



市民には徒歩や自転車の利用促進を呼びかけ、公共交通ではコミュニティバスの無償化や回数券の導入を提案されたほか、電動車の導入を進めるため、補助金制度の周知が求められています。全体として、移動手段の選択肢を増やし、利用しやすい環境整備が重要とされました。

【C グループ】

ごみの分別と食品ロスに関する課題が重要であると指摘されました。生ごみのフードロス対策として、高齢者向けのデイサービス業者への啓発が提案され、市民団体との連携強化が求められました。また、リチウムイオン電池の処理方法や、分別に対する市民の意識向上も重要とされました。



さらに、ごみ分別アプリの改善や、情報弱者への配慮が必要との意見があり、紙媒体とデジタル情報の両方を活用することが提案されました。粗大ごみの持ち込み対策やリユースの取組も紹介され、過去のリサイクル事業の復活が望まれる声も上がり、全体として、周知啓発や市民の協力を強化する施策が必要とされました。

【D グループ】

再開発や住宅化による樹木減少と、小金井市の特徴である「はけ」の保全が課題であると指摘されました。具体的な施策として、家庭や地域での緑化推進、市内緑地の保全が提案されました。特に、建設事業者に対して緑化しやすい家づくりを促すインセンティブの導入が重要視されました。



また、キャッチフレーズや条例を通じて市民の意識を高めることが必要とされ、「水と緑のまち、小金井市」といった分かりやすいメッセージの発信が求められました。さらに、散策コースの整備や情報発信を強化し、市民の自然への意識を高める取り組みが必要とされました。最後に、保存樹木の指定を通じて特定の樹木の保護も提案されました。

【E グループ】

情報発信と環境教育の強化について議論し、カーボンニュートラルや環境問題に対する意識醸成が大きな課題であることが指摘されました。具体的な施策として、情報発信の工夫、意識啓発の推進、環境教育の強化の3つの柱が提案されました。

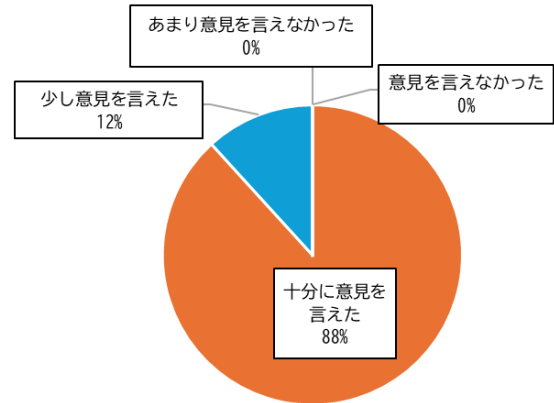


情報発信については、世代に応じた方法（SNS や広報誌など）を用いることや、地域のつながりを強化することが重要とされました。また、自治体の取り組みを後押しするために、プレゼン大会や電力使用量の見える化が提案され、環境活動へのインセンティブとして「さくらポイントカード」の活用が考えられました。環境教育に関しては、地域に根ざした教育機会を創出し、特に小金井市の特色を活かした育成が重要とされました。行政の支援を受けて、地域の教育機関との連携を強化し、参加者にはポイント付与などのインセンティブを提供することが提案されました。全体として、地域の特性を活かした環境意識の向上が求められました。

7. 第3回小金井市気候市民会議アンケート結果

質問1 本日のグループワークはいかがでしたか？

回答項目	回答数
十分に意見を言えた	15
少し意見を言えた	2
あまり意見を言えなかった	0
意見を言えなかった	0

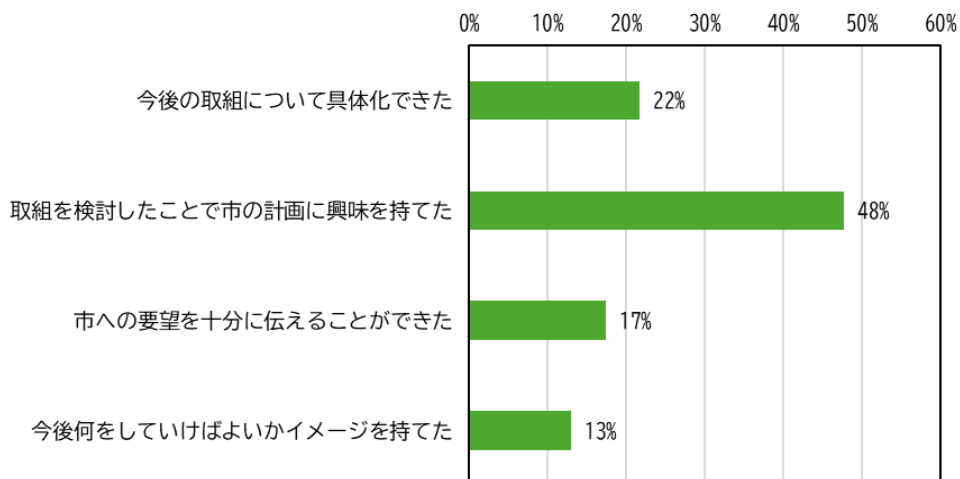


【その他】 ・グループの皆さんが良く話を聞いてくれました。
・途中、脳の糖分が足りなくなったのを感じた。

質問2 今回(第3回)の気候市民会議で良かったことは何ですか？

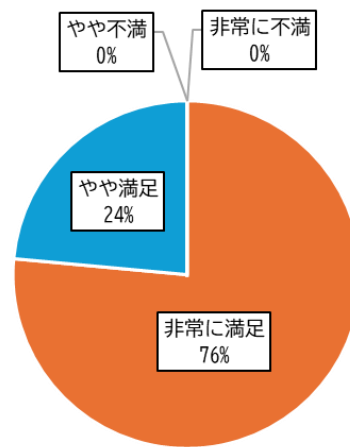
回答項目	回答数
今後の取組について具体化できた	5
取組を検討したことで市の計画に興味を持てた	11
市への要望を十分に伝えることができた	4
今後何をしていけばよいかイメージを持てた	3

【その他】 回答なし



質問4 今回(第3回)の気候市民会議の満足度はいかがでしたか？

回答項目	回答数
非常に満足	13
やや満足	4
やや不満	0
非常に不満	0



質問4 次回以降の気候市民会議に求めることがあればご自由にお書き下さい。
(自由意見)

計画を検討していくための（特に小金井市の）データがあればより良いと思った。
欠席される方が多かったのは残念でした。
次年度も開催する目的次第ですが、本会議の内容が生きて良いです。今回の提言を出して市の取り組みをアセスメントされると良いでしょうか。
数値の見える化や市民が自分ごとととらえるようにする仕組み、前年度（今回）行った内容がどこまで実現できたか等があれば良いと思います。
楽しく議論できました。環境がメインでしたが、住みやすい町づくりの話と強い関連があり、市の予算にも話題が及んだ。広く町づくりに関する話し合いでも良いかと思う。
月初は予定が多く可能であれば月中頃に実施頂けるととてもありがたいです。
また参加できればと思います。
大変勉強になりました。多くの方に参加していただくと良いと思います。
”市民一人ひとりが真摯に向き合っていないと CO ₂ の削減は出来ないと思う。

質問5 その他、ご意見・ご感想をご自由にお書き下さい。(自由意見)

小金井市を見つめ直す良い機会となりました。
致し方ないですが、提言の粒度がグループ間でバラバラな点をそろえられるといいですね。
人の意見をまとめるファシリテーターさんありがとうございました。
地域住民との意見交換を積極的に行うことができた。市民間のコミュニティ形成が希薄化している昨今では、こういった話し合いの場は増えてほしい。
今回参加させて頂き行政が温暖化の問題にいかに取り組んでいるかを知ることができた。今回学んだことを自分自身にも、他の人にも、活かしていきたいと思う。
ゲスト登壇者の話が魅力的であったので、今後も積極的に話を聞きたい。